

労働市場の概要（平成23年7月）

岡山労働局 職業安定課
Tel 086-801-5103

雇用情勢

平成23年7月の有効求人倍率(季節調整値)は、0.89倍となり、前月と同水準。
前月と比較して、有効求人数(季節調整値)が1.4%減少し、有効求職者数(季節調整値)も0.4%減少した。

新規求人数(原数値)を産業別に前年同月と比較すると、主な産業では、建設業(21.7%増)、製造業(33.8%増)、運輸業・郵便業(31.4%増)、卸売・小売業(17.9%増)、医療・福祉(6.7%増)、サービス業(他に分類されないもの)(36.9%増)で増加し、宿泊業・飲食サービス業(64.3%減)で減少したものの、全体では対前年同月比2.7%増と13ヶ月連続で増加した。

新規求職者数(原数値)は、前年同月比で12.1%と5ヶ月連続で減少した。

有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同水準であり、前年比較でも改善が続いており、県内の雇用情勢は、持ち直しの動きが続いているものの、依然として厳しい状況にある。

1 有効求人倍率(季節調整値)

7月の有効求人倍率は0.89倍となり、前月と同水準。

[過去最低:昭和38年1月の0.51倍]

(1) 有効求人(パートを含む)

○ 7月の有効求人は32,325人で、対前年同月比(原数値比較)で20.9%増加し、対前月比(季節調整値比較)では1.4%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で15ヶ月連続での増加となった。

(2) 有効求職(パートを含む)

○ 7月の有効求職は38,838人で、対前年同月比(原数値比較)で8.3%減少し、対前月比(季節調整値比較)では0.4%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)で18ヶ月連続での減少となった。

(3) 7月の正社員の有効求人倍率は0.54倍(原数値)となった。

2 新規求人倍率(季節調整値)

7月の新規求人倍率は1.23倍となり、前月より0.18ポイント低下した。

(1) 新規求人(パートを含む)

○ 7月の新規求人は12,449人で、対前年同月比(原数値比較)で2.7%増加し、対前月比(季節調整値比較)では15.2%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)では13ヶ月連続の増加となった。

○ 産業別新規求人状況(対前年同月比)は、

建設業	21.7%の増加(10ヶ月連続で増加)
製造業	33.8%の増加(2ヶ月連続で増加)
運輸業・郵便業	31.4%の増加(11ヶ月連続で増加)
卸売・小売業	17.9%の増加(12ヶ月連続で増加)
宿泊・飲食サービス業	64.3%の減少(2ヶ月ぶりに減少)
医療・福祉	6.7%の増加(13ヶ月連続で増加)
サービス業	36.9%の増加(16ヶ月連続で増加)

(2) 新規求職(パートを含む)

○ 7月の新規求職は8,622人で、対前年同月比(原数値比較)で12.1%減少し、対前月比(季節調整値比較)では3.0%減少した。

○ 対前年同月比(原数値比較)は5ヶ月連続での減少となった。

3 雇用保険の状況

雇用保険被保険者数は539,151人で、対前年同月比1.9%の増加となり、19ヶ月連続で増加した。

また、受給者実人員(基本分)は、10,076人で対前年同月比は11.4%減少し、受給率は1.8%であった。